



地域をみつめ 未来をみつめ
大分銀行



大和証券グループ

平成 23 年 4 月 25 日

各 位

株 式 会 社 大 分 銀 行
世 界 銀 行
株 式 会 社 大 和 証 券 グ ル ー プ 本 社

大分銀行が「グリーンボンド」を購入 ～債券投資を通じて地球温暖化対策に貢献する～

このたび、株式会社大分銀行（本社：大分県大分市、頭取：姫野昌治、以下「大分銀行」）は、世界銀行（国際復興開発銀行）が新規に発行する「グリーンボンド」を購入し、3月17日に払込が完了しましたので、その概要についてお知らせいたします。

グリーンボンドとは、世界銀行が資金拠出を行っている事業のうち、地球温暖化の要因を取り除くこと、あるいは地球温暖化により引き起こされる諸問題に対処することを目的に開発途上国で実施される事業を支援するために発行される債券です。グリーンボンドで調達した資金は、世界銀行の環境専門家が一定の基準に基づいて選定した地球温暖化対策事業、具体的には、代替エネルギーの導入、温室効果ガスの排出を軽減する新技術の開発支援、森林再生、河川流域管理、洪水対策などの事業を支援するために活用されます。世界銀行は、これまで20億米ドル相当のグリーンボンドをユーロ市場において発行してきました。

今回のグリーンボンドについては、発行総額 1,000 万米ドル全額を大分銀行が購入しております。引受けディーラーには、大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券キャピタル・マーケット株式会社指名され、発行のアレンジを担当しました。

大分銀行では、経営理念『地域社会の繁栄に貢献するため銀行業務を通じ最善をつくす』を実践すべく、CSRへの積極的な取り組みを通じて、大分銀行と社会全体の持続的な発展を迫っています。具体的には、サービス・ケア・アテンダントの配置といった少子・高齢化への対応、地域の芸術・文化の育成を目的とした「大分銀行ウェンズディコンサート」の開催などを通じた地域社会への貢献が挙げられます。環境問題に対しては、営業店へ「太陽光発電設備」を設置したり、電気自動車を県内の企業で初めて導入するなどの取り組みを行っています。

大分銀行 取締役頭取の姫野昌治氏は次のように述べています。

「大分銀行において環境への対応は重要経営課題のひとつであり、①環境に配慮した商品・サービスの開発・提供、②環境に配慮した業務運営、③環境保護のための積極的な社会貢献活動という3つの活動内容として推進しています。こういった環境問題に対する取り組みの中で、この



地域をみつめ 未来をみつめ
大分銀行



大和証券グループ

たびのグリーンボンド投資を決定しました。グリーンボンドは、金融市場から地球温暖化対策に貢献できる非常に画期的な手法であると考えています。

当行におけるCSRとは、『銀行業務を通じて地域経済の発展・活性化に貢献するとともに、良き企業市民として社会や環境が抱える課題の解決に向けた幅広い企業活動を行い、お客さま・地域社会・従業員・株主・投資家等の全てのステークホルダーから最高の信頼を得ること』です。これからも環境への配慮を考慮して各種の活動を展開し、皆さまからの揺ぎない信頼を得られる銀行を目指して取り組んでまいります。』

世界銀行 財務局駐日代表の有馬良行氏は次のように述べています。

「地球温暖化問題を解決する有効な金融手法の一つとして、世界各国の投資家がグリーンボンドに注目する中、大分銀行様に、日本の機関投資家向けとしては 12 件目となるグリーンボンドにご投資頂きました。大分銀行様には、2005 年からは世界銀行の売出外債の証券仲介を、2009 年からは世界銀行債券ファンドを店頭にてお取り扱い頂いており、世界銀行の資金調達に継続的なご支援を頂いております。今回、機関投資家としても世銀債にご投資頂いたことに大変感謝しております。今後ともより多くの投資家の皆様に世界銀行をご支援頂けるよう、努力して参りたいと思います。」

また、大和証券株式会社 専務取締役の中村比呂志氏は次のように述べています。

「国内においては個人投資家が牽引してきた社会貢献投資市場ですが、昨年夏以降、機関投資家の皆様の参加も活発になってきました。こういった流れの中で、このたび大分銀行様からもグリーンボンド投資へご参加頂いたことを非常に嬉しく思っております。

金融には非常に大きな力があり、その機能をいかに社会のために有効に活用できるかが重要となってきます。必要な資金を、必要としているところへ提供できれば、解決できる問題が数多くあるのです。大和証券グループではこれからも、金融という手段を用いて、海外・国内問わず世界が抱えるさまざまな課題の解決に貢献すべく努めて参ります。」

購入概要

発行体	世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）
起債通貨	米ドル
購入額面	1,000 万米ドル
受渡日	2011 年 3 月 17 日
償還日	2016 年 3 月 17 日
主幹事	大和証券キャピタル・マーケッツ



地域をみつめ 未来をみつめ
大分銀行



大和証券グループ

■ 大分銀行について

大分銀行は、大分県を主要な営業基盤とする地域金融機関であり、1893年に設立されました。大分県内を中心として103ヵ店（出張所を含む、平成22年12月31日現在）の店舗を持ち、地域の皆さまの暮らしに密着した金融サービスを提供しています。

経営理念として『地域社会の繁栄に貢献するため銀行業務を通じ最善をつくす』を掲げ、地域の皆さまと共に経済の発展への貢献や文化・スポーツ活動の育成などを積極的に行い、顧客満足度日本一の銀行を目指すという目標に向かって前進しています。

■ 世界銀行について

世界銀行（通称 IBRD : International Bank for Reconstruction and Development）は、1945年（1944年に創設協定を起草）に設立された国際開発金融機関で、現在187の加盟国が出資し運営しています。日本は1952年にIBRDに加盟しました。IBRDは加盟国への貸出・保証に加え、リスク管理サービスおよび分析・助言サービスも提供し、持続可能な経済成長と環境保全を両立させるべく、世界の貧困を削減することを目指しています。最終的な目標は、貧困を撲滅し世界中の人々の生活水準を改善することです。世界銀行は60年余に亘り、国際資本市場で債券を継続的に発行して参りました。この長い歴史の中で、1989年に史上初のグローバル債を発行する等様々な先進的な金融取引を実現し、最も著名で有力な発行体の一つとして市場から評価されています。

世銀債の詳細につきましては以下をご覧ください: www.seginsai.org

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&Aをはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務やプリンシパル投資です。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約16,000人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約42兆円、グループのアセットマネジメント会社2社の運用資産残高は合計で約13兆円です。リテール事業を行う大和証券では120の店舗網、約338万件的顧客口座数を有し、ホールセール事業を行う大和証券キャピタル・マーケットでは21の国と地域に30の拠点を有しています。（数字は全て2010年9月末現在）

以上



地域をみつめ 未来をみつめ
大分銀行



大和証券グループ

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社大分銀行

総合企画部 広報CSRグループ 小野、幸

Tel: 097-538-7617

世界銀行

財務局 柳

Tel: 03-3597-6650

株式会社大和証券グループ本社

広報部 白川、見澤、岸野、新井田、木下

Tel: 03-5555-1165